

<<東北魂>>を鼓舞する
電子新聞

発行所 株式会社遊無有

〒207-0005
東京都東大和市高木3-315-1-2-2
http://www.yumuyu.com/
e-mail:yumuyu@wj8.so-net.ne.jp

東北復興

Rising up, TOHOKU!

2015年(平成27年)7月16日 木曜日

無料

第38号

毎月発行

創刊2015年(平成27年)7月16日 木曜日



ホヤの定番料理・・・ホヤ酢

三陸の珍味「ホヤ」ファン増殖開始! ホヤ食べよう、食べ行こう!

震災後ようやくの豊漁、だがお得意様の韓国は
輸入禁止措置、行き先失うホヤ救済の呼びかけ

ホヤを知っていますか
ホヤという海産物をご存じだろうか。筆者は、東北の宮城県の出産なので、幼少時からホヤに馴染みが深い。近年大分知れ渡ってきたとはいえ、知らない方もおられるかもしれないので、下図の資料にホヤについてまとめてみた。

この説明を見ても、即座にホヤがどの種に属するかを理解するのはなかなかむずかしい。

また、「ホヤ貝」などと呼ばれることもあるが、厳密には「貝」ではない。もっと簡単にいえば、漢字では「海鞘」と書き、貝でもないし、ナマコでもないし、海洋植物でもなく、ピウラ科/マボヤ科の脊索動物(尾索動物)ということになる。これでもやはりよく分からない。

日本の周辺には、百数十種もいると言われているほど種類も多いが、その全容はよく知られていない。一般的な食用ホヤは「マボヤ」である。



水揚げ直後のホヤ・・・少々グロテスク?

そのためにであろうか、夏を除き、ホヤを見かけることも、実際に食に提供されることも非常に少ない。

三陸のホヤ、大ピンチ
このホヤは、地域的には東北以北では知られているが、関東圏でもメジャーではないし、ましてや関西以西では知る人は少ない。当然ながら、消費も少ない。

そのためか、生産量の半分以上、約六割以上が輸出に向けられてきて、その輸出の大半が、大震災前まではお隣の韓国向けであった。他の国にも輸出されていたが、その量は微々たるものという状況であった。

しかし、東北大震災でホヤの養殖は壊滅した。その後、前述のように、養殖には三年から四年かかるが、苦心惨憺して、ようやく復活しかけ、さらに今年は豊漁も予想されていたところ、最大のお得意先の韓国



殻の中からパイナップル色したホヤ出現

の禁輸措置により、出荷ができなくなりました。二重三重の苦難が襲っているのだから。

出荷出来なくなったホヤは、行き場を失った結果、水揚げすることもかなわず、海のなかで成長するに任せられないし、それだと成長しすぎて、巨大なホヤになってしまおうという生産関係者の危惧の声も聞こえてきている。

いったいどうすればいいのか。

函館の友人に聞いた話では、北海道に中国からホヤ買い付け人が来て、高値で買い付けているという話もあるが、あまり大きな話題にならないところを見ると、量的には大したものではないのだろう。

残る方策としては、加工食品の「塩辛」などにするか、国内消費を一挙に拡大するため、「ホヤファン」を増殖するしかない。

好き嫌いが激しいホヤ
写真にあるように、殻つきのホヤはグロテスクに見える。ホヤを食べたことのあるリード役がいなければ、食べてみようとはなかなか思えないかもしれない。

さらに、新鮮なホヤであっても、かなりクセのある海産物であることは確かである。海の香りそのものという感じの匂いがする。

実際に食べてみれば、大好きになる人も多いが、香りがきついのが苦手な人には敬遠されがちである。

結局のところ、一度食べてみていただくのが一番である。

ただ、注意点としては、水揚げしてから時間を置かず、出来れば一日程度で食

輸出偏重加速構造
いずれにせよ、日本政府はこの韓国の禁輸措置に関し、世界貿易機関(WTO)に提訴したが、決着がつくまでは、ホヤの行き先は流動的である。

それに、グラフを見てすぐ分かるように、輸出比率と量は年々高まっているのに対し、国内消費比率と量は年々減少している。

結果的に輸出偏重にならざるをえない構造になってしまっている。

この点からも、出来るなら消費構造の大転換を図るべきで、その目指すべき本丸はやはり国内消費拡大ということに尽きる。

第1表 養殖ホヤの生産量と輸出動向

(単位 トン、%)

	生産量 A	輸出量 B	国内消費量 (A-B)	輸出割合 (B/A)
2005年	8,624	2,812	5,812	33
2006	9,804	5,025	4,779	51
2007	10,169	6,707	3,462	66
2008	10,779	6,705	4,074	62
2009	10,937	7,318	3,619	67
2010	10,272	7,277	2,995	71
2011	693	990
2012	...	25

資料 農林水産省「漁業・養殖業生産統計」財務省「貿易統計」(統計品目コード 2011年まで030791200、2012年以降030890110)

(注) 1 生産量は「ほや類」の養殖生産量。2011年は東日本大震災により消失したデータを含まない数値。
2 輸出先はほぼ全量が韓国(年によってアメリカ、香港、カナダ、シンガポール向けもあるが微々たる量)。

ホヤとは何か?どんな食べ物か?

ホヤ(海鞘、老海扇)は脊索動物門 尾索動物亜門 ホヤ綱 に属する海産動物の総称。ホヤは日本、韓国、フランスやチリなどで食材として用いられている。

日本では主にマボヤ科のマボヤとアカボヤが食用にされている。古くからホヤの食用が広く行われ多く流通するのは主に東北地方北部沿岸であり、水揚げ量の多い石巻漁港がある宮城県では酒の肴として一般的である。また北海道でも一般的に食用の流通がある。多いのはマボヤであり、アカボヤの食用流通は北海道などであるが少ない。東京都で食用が広まり多く流通するようになったのは近年である。中部地方以西・西日本各地では、今なお少なくない。

食用に供される種であるマボヤは、日本では太平洋側は牡鹿半島、日本海側は男鹿半島以北の近海産が知られる。天然物と養殖により供給されている。特にワタと呼ばれる肝臓や腸には独特の匂いがあり、これを好む者はワタごと調理し、苦手な者はワタを除去すると独特の匂いかなり抑えられる。ホヤの中の水(ホヤ水)にもホヤ特有の香りがあり、刺身を作る際はホヤ水を使って刺身を洗ったり、独特の香りを好むものは、醤油の代わりにホヤ水にワタを溶いたものをつけて食す。

新鮮なものは臭わないが、鮮度落ちが早く、時間が経つにつれて金属臭もしくはガソリン臭と形容されるような独特の臭いを強く発するようになる。冷たい海水につけておくことで鮮度が落ちにくい。首都圏で出回るものは鮮度が悪く全体に独特の匂いが強まっており、好き嫌いが分かれる要因のひとつとなっている。

独特の風味が酒の肴として好まれ、刺身、酢の物、焼き物、フライとして調理され、塩辛、干物に加工される。また、このわたと共に塩辛にしたものを**真久煮(まくらい)**という。

(ウィキペディアより抜粋、筆者)



三陸酒海鮮会・渋谷(7/11)で提供したホヤ料理 ①



三陸酒海鮮会・渋谷(7/11)で提供したホヤ料理 ②

すことをおすすすめする。以前、ホヤ嫌いという方の話を何人かにお聞きしたが、新鮮でないホヤを食したらしいことが判明した。新鮮でないホヤは、金属臭というか、ガソリン臭というか、そうした匂いがする。そして、とてもおいしいとは言えないような食物に変化してしまう。そうした新鮮でないホヤを食せば嫌いになるのは当然である。くれぐれも気をつけていたいただきたい。

ホヤの食べ方

ホヤのポピュラーな食べ方は、酢の物や刺身等の生食である。

三陸では、シンプルに三杯酢をかけただけで食べるやり方も多い。

東京圏でよく見かけるのは、キュウリを加えた酢の

物や、小ネギやみじおろしなどの薬味を添えたり、わさびしょう油などで食べるものなどがある。

筆者は断然、シンプルに酢としょう油だけをかけ、大量に食べ、ついでにおいしい地酒をいただくのを最高の楽しみとしている。

ただし、繰り返しになるが、生のホヤを食べるには新鮮なものに限るとのことである。

酢の物や刺身以外にも、写真にあるようにレシビはたくさんあるようだ。ぜひ試してみたい。

珍味としての加工食品

これらの生ホヤ料理とは別に加工食品もある。

代表的なものは塩辛である。瓶詰めタイプを多く見かける。また塩辛を食べればつい日本酒に手が伸びる。たまらない組合せである。

また、「このわた」というナマコの腸の塩辛と共に塩辛にしたものを莫久来(バクライ)というが、日

れを切って、肝臓や腸を取り除く。最後に好きな形にカットして、盛りつける。それだけのことである。

三陸酒海鮮会で酢の物提供

当紙面で解説するばかりでは能がないということで、大震災発生以後、二年以上に亘り継続開催している【三陸酒海鮮会】という三陸被災地を間接支援する会でも、ホヤを食べてもらうことにした。(写真参照)

ホヤ初心者がほとんどなので、最初の料理は、オーソドックスに酢の物にした。今後は継続的に食べていた

だく予定だが、このなかからホヤファングループを形成して行きたいと思う。

そんなことで、開催前からホヤを所望されていた参加者もいたが、好評のうち

に第一回のホヤ試食は終了した。

次のレシビは、塩辛とか、莫久来(バクライ)と三陸の地酒の組合せを検討中である。

なかなかお目にかかれる飲み屋さんもないということなので、ぜひ楽しみにしていただきたい。

こうした地道なホヤファンづくりで、三陸ホヤの窮地を救ってほしいと思う。

一般的なホヤのさばき方



ホヤ料理の代表・・・ホヤ刺身



そのまま根に向けて縦に切り開く



購入したホヤは、袋に入ってる水ごとボールに移す



珍味・・・ホヤの塩辛



身を切り開くと内部に黒いワタと茶色っぽいワタがある。肝臓や腸で、臭いがあるので取り除く



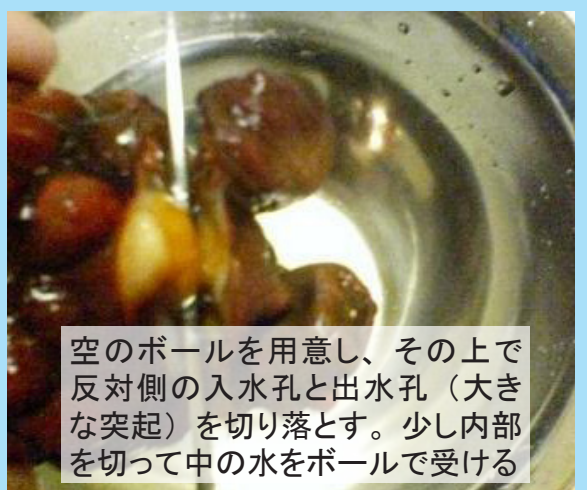
根の部分を少し切り落とす。内部まで切らない



珍味・・・莫久来(バクライ)



ワタを除いたら水洗いし、お好きな形にカットして盛る



空のボールを用意し、その上で反対側の入水孔と出水孔(大きな突起)を切り落とす。少し内部を切って中の水をボールで受ける



七月十一日、第十四回目を迎えた三陸酒海鮮会・渋谷開催は、初めて、むさくらしい男衆ばかりの会となりました。いつもは、女性陣も加わ

第14回三陸酒海鮮会 渋谷開催(7/11) ホヤ料理要望に応え提供 ピンチのホヤ論議に花咲く



東北の地酒ラインアッパー渋谷開催

り、多少お上品なところもある会ですが、今回は何となく野性味が感じられました。今回の新聞でも、一面、二面に「ホヤ特集」を組み

ましたが、この会も、ホヤの話、ホヤ産業の窮状、ホヤを食べて、ホヤのスポーツスマンになって欲しいというような話から会が始まりました。

当然ながらホヤ料理も出ました。ホヤ初心者が多いだろうということで、オーソドックスな酢の物を提供しました。

今回はぜひたいホヤを出して欲しいという参加者もいて、大歓迎でした。

次回あたりは、ホヤの塩辛やバクライという珍味も提供して欲しいという声もありました。前向きに検討していきたいと思えます。

また今回は、シンガールの田森君のミニライブもあり、大いに盛り上がりしました。次回は、真夏を避けて、九月に開催予定です。



三陸産の鯖と鮭



三陸さばのおろし漬け

水産業再興のための 料理レシピ紹介

第11回目

【三陸さばの おろし漬け】



郷土料理愛好家
松本由美子氏

油で揚げたさば、大根としょうがですっきり夏向き料理に変身!

レモンや柚子、かぼす、セロリ、玉ねぎ、きゅうりを加えてもよい。

続き——作り方 ②

【作り方・食べ方】

- ④ 大根と生姜は、それぞれにすりおろします。大根はうらごしの上ののせて水気を落とします。
 - ⑤ トマトは湯むきで皮をとり8ミリ角に切ります。あさつきは小口にします。
 - ⑥ 揚げたてのさばに一煮立ちさせたタレをかけて味をしんとさせます。大根おろし、生姜、トマト、あさつきをのせ、汁ごと盛りつけます。
- さばは、キツネ色にからりと揚げます。さめた方が美味しくなります。レモンや柚子、かぼすのくし形を添えても良いです。セロリ、玉ねぎ、きゅうりを加えてもよいでしょう。魚は、たら、かれい、ブリなどにも向きます。

材料と作り方 ①

【三陸さばのおろし漬け】

【材料】

さば 2切れ(40g) 塩・コショウ・小麦粉4g・油 5g・出し汁 15g・醤油 6g・みりん 6g・大根 50g・しょうが 1g・トマト 30g・あさつき 5g

【作り方・食べ方】

- ① さばは三枚おろしにして塩・コショウをして5分ぐらいおきます。
- ② 小麦粉をまぶして180度に熱した油でからりと揚げます。
- ③ 鍋に出汁と調味料をいれて一煮立ちさせます。

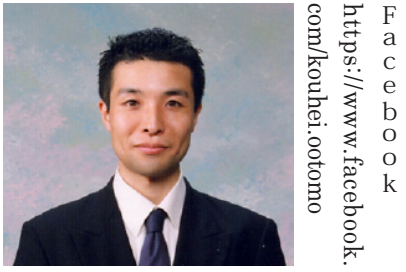
真田幸村と宮城県との浅からぬ関係

盛り上がる白石・蔵王

来年のNHK大河ドラマが真田幸村を主人公とした「真田丸」に決まったそうである。今年は徳川家康が豊臣氏を滅ぼした、つまり真田幸村が命を落とした大坂夏の陣からちょうど400年とこのこと、そのことも大河ドラマの決定にも影響を少なからず与えたのかもしれない。そしてまた、大坂夏の陣400年と真田幸村に因り、大阪から遠く離れた宮城県の白石市や蔵王町が並々ならぬ盛り上がりを見せている。白石市は大坂夏の陣400年記念事業として8月15日(土)まで、武家屋敷とその前の沢端川で「白石城下梅花藻ライトラップ」を行うと共に、7月30日(木)〜8月2日(日)は「白石城月の宵祭り」を

執筆者紹介

大友浩平 (おともこうへい)
奥州仙臺の住人。普段は出版社に勤務。東北の人と自然と文化が大好き。趣味は自転車と歌と旅。
「東北ブログ」
<http://blog.livedoor.jp/anagmas/>



Facebook
<https://www.facebook.com/kouhei.ootomo>

白石城天守閣・武家屋敷で8月1日(土)には「白石城月の宴」を白石城芝生広場で開催する予定である。蔵王町でも、7月18日(土)に矢附地区公民館周辺で「仙台真田ちゃんばら合戦」を開催すると共に、7月26日(日)まで蔵王町ふるさと文化会館(ございんホール)で特別展「仙台真田氏の名宝Ⅲ」を開催している。

幸村の遺児たちが白石に
なぜ宮城県内のこれらの市や町で大坂夏の陣や真田幸村の話題で盛り上がりつつあるのかと言え、真田幸村とこの地域とに、実は深いつながりがあるからである。そのきっかけはまさに、400年前のその大坂夏の陣に遡る。

重長、政宗の心内は
これだけの重大事、重長と父景綱だけの一存で決められることではない。当然、主君である政宗の許可があつてのことだ。これは間違いなく、大八は京都で7歳で死去した」という根拠不明の情報も流布したり、守信が幸村の従兄弟の政信(架空の人物)の息子であるという系図が作られたりしたのは、すべて政宗らによるカモフラージュ工作であつたと考えられる。

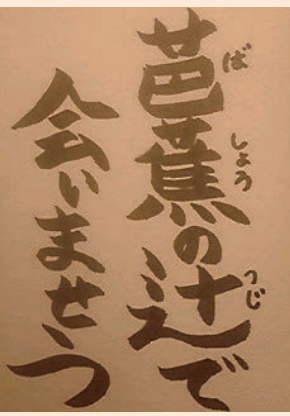
敗れた者を
受ける地・東北
考えてみれば、東北の地は古くから、戦いに敗れた者が逃れてくる地でもあつた。神代に長脛彦の兄安日彦が津軽に逃れてきたという伝承に始まり、聖徳太子の時代には蘇我氏に敗れた物部氏が秋田に逃れ、源平合戦で敗れた平貞能が逃れてきたところに定義如きが、源義経が奥州藤原氏を頼って平泉に逃れ、その奥州藤原氏自体も東北に土着した理由は関東で起こした乱の戦後処理であつた可能性が指摘されてもいる。

一層盛り上がる
来年に期待
...というようなことを頭に入れながら来年の「真田丸」を見るときより楽しめるかもしれない。今回紹介した重長と幸村、そして阿梅を巡る逸話がドラマの中にも登場するのだろうか、登場するとしたらどのような描かれるのかも興味あるところである。

加えて、落ち延びてきた者を受け入れる土壌が元々あつたのではないかとも思う。そもそも東北自体、住人が蝦夷と蔑まれ、度々征討の対象となつてきた地である。この地に住む者には、敗れた者に対する共感や同情心があつたのではないかと思うのである。

来年に期待
そうそう、蔵王町の「真田の郷・蔵王町PR活動公式ホームページ」では、イラストと平易な文章でこれらのエピソードを紹介した「仙台真田物語」がダウンロードできる (<http://www.dokitan.com/sanada/reading/index.html>)。16ページの「フルバージョン」だけでなく、7ページの「ダイジェスト版」まで作る力を入れようである。史実でないところはその旨注釈が入るなど、丁寧である。真田氏の「本家」、上田市でも同様の「信州上田真田氏物語」を作成し、冊子として販売している他、Kindle版が100円で購入できる。こちらはオールカラーであり力が入っている。来年の大河ドラマの「予習」にちよよいかもしれない。

連載
むかしばなし



第二十六話
奥陸の眠れる

文治五年(一一八九年)

秋口、奥州・名取平野の人々は翌日に控えた、もはや逃れられぬ大戦の未明、闇空に響く不穏な轟音に叩き起こされた。

多くの人は悪夢と疑った。山より高い二人の巨人が、北の夜空の下、黒い入道雲のように鎮座して、何やら夢中になって議論し合っているように見えたのだ。名取高館の砦から起き出した少女・若は北の山影の上に覗くその姿が、宮澤賢治と他ならぬ自分の父・佐々木喜善のそれと認めて身を乗りこえた。

「殿！北に異変です。」
「親能と飲んだ酒は残ってないが、頼朝はそれでも重い頭をもたげて這うように床を抜けた。」
「巨人が出ました。」
耳を疑う事もなく、雷神たる兄・悪源太義平の新たな敵が現れたな、ぐらいにぼんやりと考えるが、外に出て夜空を見上げると一気に入気が吹き飛んだ。



奥羽越現像氏紹介

一九七〇年山形県鶴岡市生。札幌、東京を経て、仙台に移住。市内のケルト音楽サークルに所属し、あちこち出演し演奏する。フィドル(ヴァイオリン)担当

り出した。

一方、向山を降りて忠衡に紹介された、というより忠衡が強引に国衡の家臣に手配させた野宮所で眠りについてた石川善助も、飛び起きてより近くで同じ光景を目撃した。善助は呟く。「宮澤さんだ・それに・」

「おおあれは佐々木喜善さん！乗っておられたのか。」
忠衡が側に立ち、火花を見るように目を細める。「大天狗が巨人に変えられる人間などそうさういねえ人もある中だとはな。」

「なに・念西だ。」
常陸入道こと、常陸国伊佐の武将・中村朝宗。昨日の大戦では四人の息子どもが活躍し、伊達の将・佐藤庄司基治の一軍を破るといふ功績を上げていた。実は、頼朝は彼の娘を一人、側女として愛し、三年前には子も生まれていた。年齢はさほど変わらないのだが、義理の父という事になる。二人は対面した。

「もしや、海尊か。」
「御意。彼奴は今、出羽の月山に入っております。」
「何ゆえ」
「月山はこの世ならぬ異界。海尊は一度、死んだ存在として、現世から隠れねばならなかった由。未来より、もう一人の己が降りてくる故とか・しかも数百年先の自身である、などと申し」

「奇態な・海尊め、自らが神仙か何かのつもりか。」
常陸坊海尊、この念西の密偵として、弟・義経の家来に紛れさせていた。義経また化け物めいた逸話を持つているが、海尊は妖怪と常陸の姫の間に生まれた奥州人であり、母の故郷に因んでその名乗りを上げた

と、念西は語っていた。「その海尊めが、夢に出てきよりましたな。」
「ほう。死人だけにか。」
「未来から降りてきたのは海尊のみならず・国分が原に禍々しき結界を張りよる妖しの一団あり、と。」
「結果だと・一体、何が起こつておる。あの、巨人どもの幻も関連するか。」
「おそらく・だが、正しいかはわかりませぬ。」

このわしが、泰衡と同じ臭いを発している・蝦夷の首領の臭いを、などと。」

頼朝が思わず眉間に皺を寄せると、入道は破顔した。「ガハハ、戯れにござる。わしらは蝦夷を終わらせに来たのだ。そう返してやり申したぞ。」

新たな、蝦夷か。古くは常陸自体、蝦夷の国の入り口ではなかったか。遠慮はいらぬ・この地を受け、鎌倉にいる俺の代わりに君臨するが良いではないか。

頼朝はもう床を出て動き出した。戦を続けよう。源氏が取るべき真の戦を。
「なして、わしがこの時代に二人いる、とわかった」
盤三郎憲家は怪僧に問うた。芭蕉は答える。
「現世、常世を行き来した方のお話し振りでしたから。常人ではあり得ない。長く生きておられるとか・となると、ざっと七百年にはなりますか。猿王の倅殿。」

「千年越えじゃ。この時代、わし・即ち常陸坊海尊は既に三百歳を過ぎていたからな。」
その時・石造りの砦の上方で、声がした。
「これは面白い眺めだな。」
振り向き、また見上げる

と、一人の男の仁王立ちした黒い影があつて、巨人たちの様子だが、顔は見えない。「もし、真に恐れ入るが。」
芭蕉が声をかけると、石を置きにきたのだろ

う
「この返答が降りてきた。というところからもう少し南西だぞ。」
石の事を見通しているとは、ここまでするから来たのだ。おきたく。」
「実話、ここまで来たからには大天狗殿にご挨拶しておきたく。」
「というより、山頂に置いた石をどうかされないかと信用ならぬであろう。」
全て筒抜け、とても言わんばかりだ。
「ご明察であります。それと、我らの仲間が一人、そちらにご厄介になつておらぬかと思ひましてな。」
「胆沢のアテルイが裔の事か。それについては、礼を言わねばならぬな。」
「どういう事でござるか。」
突如、要塞の巨大な石門が奥へと開き、大勢の人間がばたばたと足音を立て、外へ出てくるのがわかった。

村人たちが・芭蕉が目凝らすと、人々はざらりと門の前に並び、手や、顔を動かして二人の客人を門の中へ誘っているようである。ある者は簡素な兜を被り、ある者は農具を武器に見立てて構えてもいる。

もはや、巨大になり過ぎていた賢治と喜善は、全く下の様子に気づいていないようだ。仕方なく二人は、青葉山の要塞の構内へ足を踏み入れていった。
*
今和次郎の描いた、少女の鉛筆肖像画。その似顔絵に、描かれた少女は魅

入られたように、微動もしなくなった。
「な、何したば・」
兄がうろたえる姿を、茅葺家屋の外から、今純三は見ていた。
「なあに、ちよつとした催眠術だよ、今さん・いるだろう、魂が取られるからと、写真を撮られるのを嫌がる者が。あの、遠野の佐々木君も、そうだったがな。あれは実はあながち、迷信とばかりも言えないのだよ。」

「先生・一体何ですか、これは。何故こげな事をなさるか！先生は政界から退かれたのではなかったのか・」
柳田は元は農政官僚であり、後に貴族院に移り大正天皇にも仕え奉った大俊英だが、数年前になぜか自ら辞し、一民間人となった。兄はそう言っていた。
「今さん、私の目的はな・新しい学問を立てる事だ」
「はい。それは、もちろん」
「私は、それを帝国の『国学』にまで育て上げたいと考えている。」
「こ、国学・ですか。」

「西欧列強にわが国の何たるかを示すには、そして全ての日本人が共有すべき誇りを手にするには・必ず誰かが確立せねばならぬ」
「この女人、その国学を揺るがすだろう。この国を、再び二分し兼ねない存在なのだ。」
「二分・！？一体、どこと、どこにですか・」
「今さん。知らぬか、君の郷土、ここ東北の地の恐ろしさを・目覚めればいつでも我が国を分断に導く、眠れる鬼門。それがこの陸奥の真の姿なのだ。」
「そげな・馬鹿な。荒唐無稽の極致。あり得ねえべし」
「奥州人こそ忘れておるのだ。この娘が何者かわかつておるか。ふん、知れば腰を抜かすかも知れぬから、まずとにかく山を降りよう。娘は為すがままだ。」
兄はそれでも納得のいかぬ様子でいたが、師の威厳は凄まじく、どうしようもない事が弟の心に伝わってくる。柳田が外套を羽織り、茅葺家屋から外へ出ようとした、その時である。

銃声が轟いて、柳田の帽子が屋内へ吹き飛んだ。咄嗟に引き戸を閉め、和次郎に伏せるよう促す。魂を失った娘は、無反応に立ち尽くしていた。
「や、やえと・」
「違う。チャンネルラよ。」
「次回予告」
「ついに朝日は昇る・！太白山に『あの男』が帰ってくる！そして『あの女』も立ち上がる！そして巨人は、立ち上がれない！！」

「火縄だ・近隣のマタギカ。今さん、娘を守つていなさい。片付けてくる。」
屋内の柳田が、そう言ったのがわかった。次の瞬間、引き戸が中から破られて外套を脱ぎ捨てた細身の紳士が飛び出してきた。
二発目の銃声が鳴るも、柳田は地面を敏捷に転がってかわし、速やかに体勢を立て直すと、走り出した。物凄く俊足・尋常ではない身体能力だ。
火縄銃では次の弾を発射するまでも間に合わない。柳田が飛び込むと、茂みの中で何か物騒な衝突が起き始めた。数秒、硬直していた純三だが、やがて窓から屋内へ声をかける。
「兄貴！兄貴よ。俺だ、純三だ。早く逃げろ。」
しかし、和次郎は娘を床に伏せさせ、自分は戸口から外を伺つており一向に弟の声が届かない様子だ。
業を煮やし戸口へ回ろうとした純三の肩を、何者かがむんずと捕まえた。
「あんた、何してるの。」
ぎよつとして振り返ると、何とそこにヤエトが・目を覆っていた布を取り、妖しい光を放つ眼窩を晒した、盲目の蜂娘が立っていた。
「や、やえと・」
「違う。チャンネルラよ。」
「次回予告」
「ついに朝日は昇る・！太白山に『あの男』が帰ってくる！そして『あの女』も立ち上がる！そして巨人は、立ち上がれない！！」

シリーズ 遠野の自然 「遠野の小暑」 遠野 1000 景より



親子熊

二十四節気区分でいうと、七月初めは「小暑」。この区分では、梅雨明けが近づき、暑さが本格化する時期ということになります。

とはいえ、東京圏は雨続き、曇り続きで、七月初めの週など、一週間の日照時間がわずか八分、一日あたり平均わずか一分という異様な日照時間となりました。

おかげでじめじめした空気にまとわりつかれ、洗濯物もなかなか乾かず、憂鬱な日々を過ごしておりました。

一方、遠野の七月十日以降の一週間ほどの天気予報では、毎日夏日が続くよう

で、あくまで予報レベルの話ですが、東京圏よりも暑さが厳しいようです。

そんな遠野からの「小暑」前後の風景をお届けします。

今回の話題は、何といっても熊の親子の写真です。もう少しで子別れをする時節寸前の親子熊三頭。母親に小熊二頭の組合せ。

目の前に突然出現したらさぞやびっくり仰天することでしょう。車内からの撮影ということで安心しました。

全国でも熊出現のニュースはあちこちにありますが、遠野でもたまに遭遇するようです。



ウグイスカズラの実



木漏れ陽



シラン

この季節も引き続き、さまざまな花が咲き乱れているようです。

まずはウグイスカズラの実。花ではありませんが、鮮やかな深紅で魅力的です。甘い実で、食べられるとい

います。が、どんな味があるのでしょうか。

アツモリソウは、育てるのにかなり苦労する植物の



朝露のぺんぺん草



シャクヤク

天空の巨大寺院群 福島県伊達市・霊山寺跡を訪れる 佐藤紀彦

宮城県との県境に近い阿武隈山地北部に聳え立つ秀峰・霊山(りょうぜん・標高八二五m)。現在では登山家により新日本百名山の一座に選定される景勝地でありながら、歴史を紐解けば、中世の一期、「北の比叡山」にも喩えられる東国に比類なき巨大寺院群が存在し、また、南北朝時代、陸奥守・北畠顕家が京の都を攻め落とし、足利尊氏を九州に敗走させた後に東北の南朝勢力が国府を置いた地でもある。本稿ではこれほど、東北史に深い痕跡を残しながら、星霜に埋もれ、中央の正史からは忘れ去られた霊山寺についてぜひ紹介したいと思う。



写真①「山麓の「こどもの村」から見上げる霊山の山容」
写真②「霊山場跡付近から霊山寺跡・古霊山方向を望む。この高台にかつて大寺院群が存在したのか？」
写真③「霊山頭頂部の奇岩の一つ「見下ろし岩」より下界を眺める」
写真④「明治期に建立された霊山神社と神社に至る急勾配の石段」
写真⑤「霊山の御土産。霊山ニンジン茶と、漢方的一种・当帰エキスを濃縮したドリンク」

ら、「宝寿台」「見下ろし岩」「天狗の相撲場」「親不知・子不知」「蟻の戸渡り」「五百羅漢」「弘法の突貫岩」「日暮岩」等々と名付けられた絶景地点は登山客を決して飽きさせない。更に、霊山は、山桜・山つつじ・新緑・紅葉・初雪の時期に、四季折々の美しい表情を見せることになり、旧霊山町又は伊達市のシンボルとして、地元住民からも愛されている山となる。山麓部に展開する「霊山こどもの村・遊びと学びのミュージアム」「湧水の里キャンプ場」「温泉宿泊施設・紅彩館」を見るならば、現在において、霊山は、史跡としてよりも、郊外のレクリエーション地区の方にウェイトが置かれて、観光客の誘致が図られているのかもしれない。確かに、今の霊山には、人目を引くような歴史の痕跡は何も残されていないの

である。しかし、霊山の謎を解き明かす一つの史料がある。南北朝時代に、山頂の霊山寺が北朝勢力によって焼き払われた後に、北西方約六・四キロの山麓部に小さな寺が再建され、「里の霊山寺」と呼ばれることになったが、その寺の住職が、江戸時代前期となる一六六五年に、当時の言い伝えを基にした『霊山寺縁起』という書物を残しているのである。当『縁起』によるならば、霊山寺の概要は「五髪の岳山を表し、外郭を五院に分かつ。山上の寺、屋敷百二十、三十余」と記され、仮に、これが真実とした場合、東国唯一

の規模を誇る天空の大伽藍・山岳寺院群が、この地に存在していたことになるのである。もはや、それは空想によって思い描くことしかできないが、風光明媚ながら、山深いこの地で、剥き出しの絶壁の上に、百を超える寺屋敷が林立している様子は、どれほど荘厳であったことだろうか。その真偽を確認するための遺構調査は、これまで一九二四年と一九七七年の二度しか行われていない。その後の調査に参加した歴史研究家の話では「山頂全域は調べられず、判明した建物跡は一部に過ぎない。実際は百棟以上の建物が存在していることは確実で、少なくとも霊山寺縁起が伝える規模だった」とのことである。実際に、このとき

の調査では、山頂北側に、全長四〇mの建物が一棟連なった巨大な堂の基礎部分や、高層の塔の土台となる大きな礎石が見つかったほか、山頂南側でも同じく全長七〇mの堂跡や高層の塔跡が確認されており、縁起の内容を裏付けるものとなっている。また、これだけの規模の寺院群が建設され、運営が維持されたとなると、その庇護者は誰であったのかという疑問が生じてくる。霊山寺縁起によれば、霊山寺の開山は、平安時代の八五九年、慈覚大師と呼ばれる天台宗座主・円仁によるものとされ、円仁作といわれる『両界曼荼羅が、「里の霊山寺」に今でも保管されている。更に、霊山には、真言宗の空海にちなんだ「弘法の突起岩」や、真言宗寺院の本堂を意味する「金堂跡」が残されているため、霊山寺は、全国でも稀な両宗派合同の寺院とする説も一部の歴史家の中では有力視されている。平安後期に、東北地方で隆盛を誇ったのは奥州藤原氏であ

るが、藤原氏滅亡後の鎌倉時代においても、霊山寺の栄華が続いたため、藤原氏と霊山寺の結びつきは弱いと推測される。よって、これらの材料から、福島県文化財振興事業団のある研究者は、「巨大な霊山寺を庇護できたのは、平安仏教と結びつきを強めていた朝廷しかない。朝廷は支配確立地域と未確立地域の境に寺を築き、政庁の国府とともに拠点として支配域を広げた。平安時代を通じて、その役割を託されたのが霊山寺だ」との見解を唱えており、私も、歴史の真実は、どうもその辺りにあったのではないかと思えるのである。

◆京の都への西征、そして霊山寺の滅亡
奈良時代から平安時代にかけて、陸奥国府・鎮守府が置かれ、十一世紀半ばまで、東北の政治・文化・軍事の中心は、宮城県の多賀城であったと言われる。しかし、平安時代後期に、奥州藤原氏が朝廷より政治・軍事の指揮権を認められると、多賀城国府は形骸化し、朝廷が実質的に支配できた地の最北端が福島県北部となり、東北における朝廷の拠点として、霊山寺は存在価値を高めていった可能性がある。そして、南北朝時代に入ると、正史においても、陸奥国府が多賀城から霊山に移設される時期が到来する。

一三三三年、鎌倉幕府の滅亡とともに建武の新政が開始されると、北畠顕家が陸奥守として多賀城国府に赴任する。その後、後醍醐天皇が、関東を拠点とする足利尊氏を牽制するため、顕家に自治権を付与すると、東北の武士団が顕家の下に結集し、奥州小幕府と呼ばれる南朝派最大の勢力を形成するに至る。こうして始まるのが、東北の武装集団・武士団としては、アテルイから、奥羽越列藩同盟の時代までを含め、歴史上唯一となる京の都への西征(第一次西征・一九三五年)である。この時の侵攻では、関東攻略後に、上洛を果たし、足利尊氏を九州まで敗走させたが、征西の

間に、東北の北朝勢力に多賀城を奪われ、帰還した北畠顕家は、一三三七年に陸奥国府を霊山に移設することになる。そして、同年、東北の武士団は霊山国府に集結し、第二次征西を開始すると、関東・東海に築かれた北朝の拠点を次々と陥落させ、後の関ヶ原である美濃青野ヶ原で北朝勢を撃破し、再び京の都に迫るのであるが、その後、伊勢・大和の地で転戦を繰り返すうちに、北畠顕家や南朝の有力武将は、無念にも敗死してしまふ。顕家の死によつて、東北の南朝勢力は衰微することになり、遂に、霊山寺も滅亡のときを迎えることになる。すなわち、一三三七年、北朝勢力により霊山一帯は包囲され、激しい戦いの末に、霊山国府と巨大な寺院群が跡方もなく焼失してしまうのである。

◆あなたもぜひ霊山に！
時代は下り、明治期に南朝の正統性が認められると、南朝勢力を形成していた武将の評価は一変し、霊山の山麓部に、北畠顕家を祀る霊山神社が創建され、日中戦争以降は、戦勝祈願のため、年間三十万人の人々が訪れることになる。他方で、霊山寺に関しては、本格的な遺構調査は見送られ、現在でも、大規模寺院群の全容は闇に包まれたままである。霊山に登り、この登山道の周辺にどのような物語が眠っているかを想像しながら、トレッキングをすることもまた楽しいが、できれば、僅かばかりでも良いから、輝かしき時代の名残を見せて欲しい、そのように切に望まずにはいられない歴史の魅力を秘めた名峰、それが霊山なのである。あなたもぜひ霊山を訪れてみませんか！
(筆者注) この寄稿文は、『河北新報』平成二〇年二月のシリーズ記事「霊山寺の謎に迫る」福島・幻の山岳寺院群」を参考として作成しました。文中の歴史研究家・研究者の発言箇所は全てこの記事からの引用です。

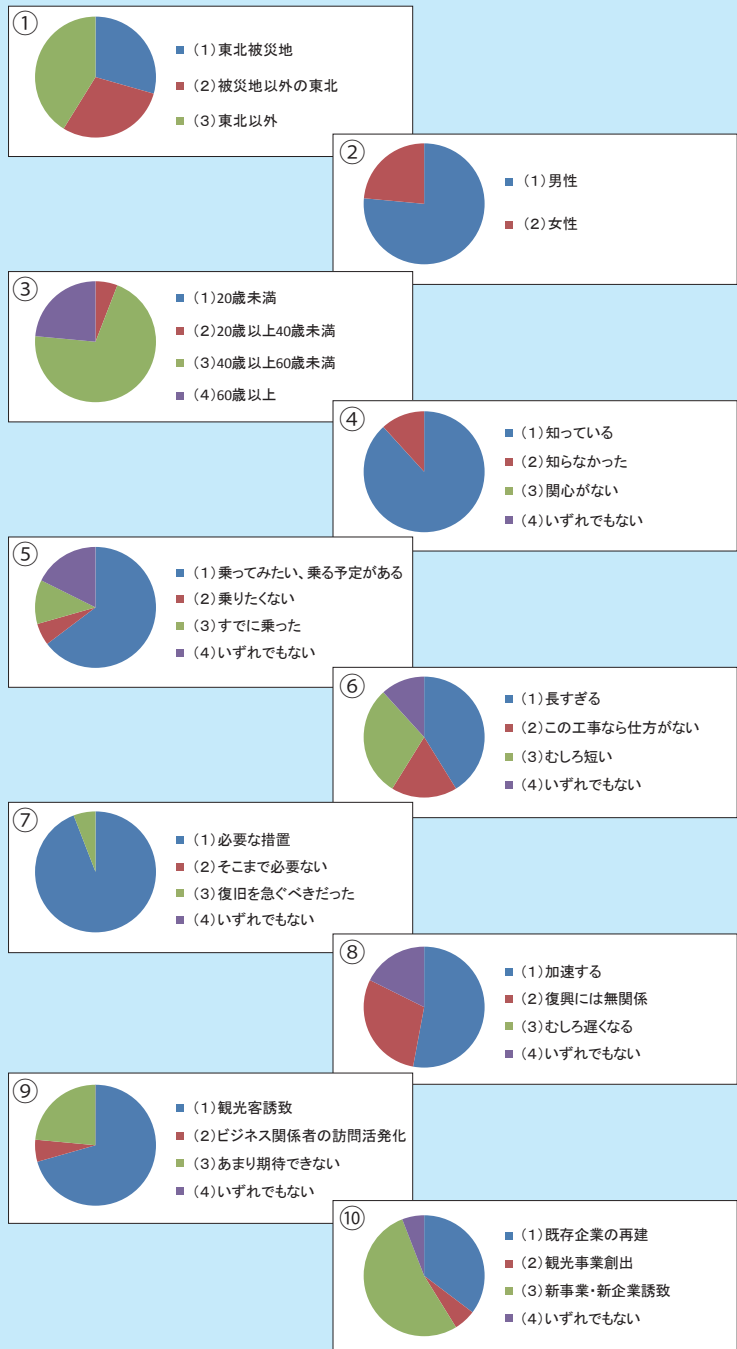
佐藤紀彦氏紹介
仙台市在住。不動産鑑定士。出身は県北の田園地帯・涌谷町。趣味は家内との温泉巡り。非寛容・排他主義がはびこる時勢を憂う。
Facebook
<https://www.facebook.com/norihiko.sato.509>



第37号 ネットアンケート集計結果

【仙石線全線復旧について】

NO.	質問と選択肢	回答数
①	住所	
	(1) 東北被災地	5
	(2) 被災地以外の東北	5
②	性別	
	(1) 男性	13
	(2) 女性	4
③	年齢	
	(1) 20歳未満	0
	(2) 20歳以上40歳未満	1
	(3) 40歳以上60歳未満	12
④	仙石線全線復旧を知っているか?	
	(1) 知っている	15
	(2) 知らなかった	2
	(3) 関心がない	0
⑤	復旧した仙石線に乗りたいか?	
	(1) 乗ってみたい、乗る予定がある	11
	(2) 乗りたくない	1
	(3) すでに乗った	2
⑥	復旧までに要する期間をどう思うか?	
	(1) 長すぎる	7
	(2) この工事なら仕方がない	3
	(3) むしろ短い	5
⑦	駅を内陸に移したことに	
	(1) 必要な措置	16
	(2) そこまで必要ない	0
	(3) 復旧を急ぐべきだった	1
⑧	全線復旧で復興は加速するか?	
	(1) 加速する	9
	(2) 復興には無関係	5
	(3) むしろ遅くなる	0
⑨	復旧で期待できるものは?	
	(1) 観光客誘致	12
	(2) ビジネス関係者の訪問活発化	1
	(3) あまり期待できない	4
⑩	復興加速のために追加に必要なものは?	
	(1) 既存企業の再建	6
	(2) 観光事業創出	1
	(3) 新事業・新企業誘致	9
	(4) いずれでもない	1



今回は「仙石線全線復旧について」。五月三十日、四月二十九日に、仙台市石巻間を結ぶ仙石線は全線復旧しました。地元民はぜひ分と待ち焦がれていたことでしょうか。この件に関してぜひお聞きすべきと思いで設定しました。回答者数は十七名。今回は、被災地を含め、東北居住者からの回答が過半を占めました。

「仙石線全線復旧を知っているか?」は「知っている」が圧倒的で約82%。「復旧した仙石線に乗りたいか?」は「乗ってみたい、乗る予定がある」が大多数で約64%。「復旧までに要する期間をどう思うか?」は「長すぎる」が約41%、「むしろ短い」が約29%、「この工事なら仕方がない」が約17%で意見が割れました。「駅を内陸に移したことに」は圧倒的に「必要な措置」が約94%。「全線復旧で復興は加速するか?」は「加速する」が約52%、「復興には無関係」が約29%。「復旧で期待できるものは?」は「観光客誘致」が約70%、「あまり期待できない」も約23%ありました。「復興加速のために追加に必要なものは?」は「新事業・新企業誘致」が約52%、次いで「既存企業の再建」が約35%でした。

これまでとこれからの復興について、構造的な変化が見られるように感じられる結果でした。

編集後記

つい二週間ほど前、復興支援について少し考えさせられる経験をしました。

東京駅近辺で、東北のある被災地の復興支援物産展が開催されたので、そこを取材し、PRして間接的に応援しようと思いましたが、たまたま責任者不在だったので、当方の名刺を渡し、発行以来三年以上の無料の新聞であること、掲載には一切迷惑はかけないことを説明して、取材と撮影だけさせてもらい、念のためあとで正式に記事で紹介する件について、了承の電話をもらう約束をしました。ほどなく電話がありました。ほとんど予想を裏切る内容に愕然としました。

「外部に紹介してもらうには、いちいち上の承認が必要で面倒」だと。一念のため紹介して欲しくないということかと聞くと、「そうだ」と。この返答には、然としてしまいました。

この県の復興支援に関しては、以前にも、非常に不快な思いを味わったことが二度あり、残念ながら今回で三回目となりました。

五年目以降の被災地と被災者はきびしい状況を迎えることが目に見えています。減少を続ける復興支援協力を食い止め、依頼可能なことは何でも依頼すべき状況と何ですが、思いはなかなか伝わらないようです。

「東北を世界に！」プロジェクト募集

・プロジェクト募集要領

- ① 東北の復興、活性化、再興を目的としたプロジェクト企画であれば、何でも可
- ② 応募資格は特に定めず、被災地、被災地以外の居住も問わず、国籍・年齢・性別を問わず
- ③ 企画書のようなものがあれば可---形式自由(プロジェクト名、プロジェクト期間、目的、どうやって実現するかの手段、仲間などを明記していただきたいと思ひます)
- ④ 〆切はとくに設けません

「東北を世界に！」プロジェクト募集

・連絡先/企画提出先

(郵送) 〒207-0005
東京都東大和市高木3-315-1
ホームタウン宮前2-2
電子タプロイド新聞【東北復興】宛
(メール) yumuyu@wj8.so-net.ne.jp

・ご提案いただいた企画については、当新聞で責任をもって検討させていただいた上で、企画開始に向けてのしかるべき方法・手段をご提案するなり、企画実現のための仲間を募ってまいりたいと思ひます。また、当新聞でご紹介させていただきたいと思ひます。(氏名公表か非公表かはご相談)

・たくさんのご提案をお待ちしています